

# 子供の興味・関心を活かした教科書伝記教材の選定基準

—現行教科書「伝記」教材の分析・実態調査を通して—

足立区立栗原北小学校 江崎 一紀

## 1 はじめに

伝記ジャンルは、全国学校図書館協議会による調査では、子供から上位に支持されているジャンルである。しかし、教科書の伝記教材にはあまり興味・関心を示さない。教科書の伝記教材の被伝者が、教育上模範的で、評価の確定した過去の人物であることが一つの原因である。そこで、子供の興味・関心を調査し、伝記教材の価値と照らし合わせて子供たちが求めている伝記教材の選定基準を提案したい。

本研究では、現行の国語科「伝記」の学習で取り上げられている被伝者を茅野(2012:288)の言う「伝記教材における道徳的価値」を基に分類し、子供たちの興味・関心を調査する。そして、現代の子供たちが求めている被伝者の価値に基づく教科書伝記教材の選定基準を提案することを目的とする。

## 2 人格教育の観点から見た伝記学習の重要性

石塚(2008:58)は、人格教育の観点から見た国語教育の重要性を次のように述べている。

国語科は「言語」の教育をもっぱらとするのであって、児童・生徒の人格形成や精神的な陶冶にまで踏み込むことは教科としての独立性を脅かすという考え方に立てば、国語科教科書には言語文化の質的に優れたものを掲載しさえすればいいということになる。しかし、そうした国語科の縄張り主義を離れて「人格教育」の視座に立ってみることは、昨今の目を覆わんばかりに荒廃した我が国の教育現場の建て直しのために必要なのではなかろうか。

また、石塚(2008:61)は、人物中心の教材教科書の減少を嘆き、伝記教材の少なさについても人格教育の点からも必要だと述べている。

玄田有史(2004:162)はニートを作らないために、「14歳にいい大人に出合わせよう」と主張する。「ちゃんと挨拶できれば、自分は否定されない存在となりえることを。地域に生きる大人との交わりの中かで、14歳は社会に生きていくための対応力である「ソーシャルスキル」の意味を実感してくるのだ。」と述べ、中学校での真摯な職場体験がニートを作らないために必要だと言うのである。国語科の教科書も、こうした社会での人間の生きて働く姿をもっと取り入れた教材を考えていくべきである。

石塚(2008:61)は、社会貢献を内容とする国語教材について、次のように述べている。

「道徳」の設置により、こうした社会貢献の内容はそちらに移行していったと予測できるとしても、現行の少なさはやはり問題とすべきではないだろうか。表を追っていくと、平成3年検定教科書とそれ以前との間に大きな断層が見られる。これは、いわゆる「ゆとり教育」の提唱により国語科の授業時間の制約が生じてきたため、こうした教材が真っ先に落とされていったことの証明にもなる。理想的には、ゆとり教育で家庭や地域にもどった児童・生徒たちが現実の社会で社会貢献についての理解と認識を深めていくべきであったのだろう。しかし、現実には玄田有史の述べるような「出会い」が起きてくることは難しく、国語科で切り捨てたものはおそらくは補完されていないのではないだろうか。

人の生き方を取り上げた伝記教材を学習することは、教材を通して様々な生き方にふれることで、人格教育の育成につながるものとして非常に重要だと考える。

世界的に見ても、日本の国語教科書の教材は、人間の生き方を取り上げた教材が少ないことが分かっている。アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、ロシアとの教科書比較研究で、松本（2008:77）は、次のように述べている。

あらためて現在の日本の国語教科書の目標構造が、活動を中心にしたものになっており、言語の学習としての内容（知識・技能など）や、表現されている内容（人間関係・対象に関する知識など）においても動物を中心とした自然ないし擬似的な自然の世界に類型化されていることが確認できた。

伝記学習は、こうした「欠落」を埋めるものとして重要だと言える。しかし、現行の教科書5社の高学年の教科書には、6つの教材しか掲載されていない。そこで、学習指導要領で求められている伝記学習のねらいを子供が達成するために、人物の魅力を教材は伝えているかを子供たち自身が話し合う学習をデザインした。調査として、次の活動を行う。①手塚治虫を被伝者とする2つの伝記教材を読んで、教材が手塚治虫の魅力をたたえているかについて話し合う。②他の5つの伝記教材を読んで、教材が5人の被伝者の魅力をたたえているかについて話し合う。この2つの話し合いの様相を分析する。子供たちは、手塚治虫を被伝者とした2つの教材を比べることで、伝記の特徴に気付く。そして、筆者によって描く人物像が異なる教科書教材は、被伝者の魅力をたたえているかという疑問をもつようになる。さらに、他の教材について興味を示す。教科書教材そのものにおける、伝記の描き方について人物の魅力をたたえているかを話し合う。このような手順で教科書教材への子供の興味・関心を調査する。対象となる学級は、東京書籍の教科書を用いており、「手塚治虫」の教材を学習する。

### 3 現行教科書の伝記教材の分析

現行5社の国語教科書の伝記教材は、6つである。

- ・学校図書（レイチェルカーソン）5年下
- ・教育出版（伊能忠敬）6年下
- ・東京書籍（手塚治虫）5年
- ・三省堂（緒方洪庵）5年
- ・三省堂（猿橋勝子）6年
- ・光村図書（浜口儀兵衛）5年

これらの教材に、学校図書（平成23年版）の「子どもは未来人」（手塚治虫が被伝者）

を加え、茅野（2012:288）の言う伝記教材における道徳的価値の分析を行った。子供たちの感想から、被伝者の好きな言動を基に分類した。

道徳的価値	レイチェル・カーゾン	伊能忠敬	手塚治虫	緒方洪庵	猿橋勝子	浜口儀兵衛
①幼少時の描写	○（－）	○（＋）	○＋－	○－	○	○＋
②自然への挑戦	○		○		○	
③スポーツ精神						
④人類愛	○			○	○	○
⑤向学心	○	○		○		
⑥真理	○	○	○	○	○	
⑦苦難	○	○	○		○	○
⑧努力	○	○	○	○	○	○
⑨情熱	○	○	○	○	○	○
⑩責任感	○	○		○	○	○
⑪他者への協力				○		○
⑫人間性		○	○	○	○	○
⑬家族愛						○
⑭才能			○		○	○
⑮平和			○		○	

5人の被伝者から好きな人を1人選ぼう

【伊能忠敬】 16人

・一歩ずつで長さを図ったのがすごい⑧⑨。あきらめない⑧。地球の直径などを知りたいと思っていた不思議を自分で実践した人⑤。・日本地図をつくった⑥。これがないと今も授業で使っている日本列島がなくて、できなかったかもしれない⑥。日本一周はずいぶん長くかかるから無理をしてまで作ったから⑥。自分で完成させた⑧。でも本当の完成は死んでしまって見れなかったから悲しい⑩。自分で作ったものを自分で見られないなんて信じられないから⑥。自分の命よりみんなが喜んでくれることがうれしい人⑪⑫。・この人のおかげで地図ができたし、忠敬の地図はすごく正確で、イギリスの軍人たちも驚いたと言っていたのでそれほどすごいと思った⑥⑧。人生をかけて地図をつくったのがすごい⑥。・日本地図を作った人とは知っているけれど、どうやって描いたのか知りたい⑥。歩くのに、どのくらい歩いたかをくわしく知りたい⑧。・困っている人に米や薬を与えたり、やさしい人だと思った⑫。世界地図を作って0.2メートルちがいました⑥。0.2メートルしかちがいがいがないので、すごいです⑥。・地図を歩き回りながらどうやってつくったかを知りたい⑥。「歩きながら地図を作ったのがすごい⑧。・日本の地図をつくった人⑥。死ぬまで地図を作り、頑張ってきた人⑧⑨。とても、すごいです⑥。・歩いて日本地図を作ったから⑥⑩。・たくさん歩いて町の地図やMAPなどたくさん作ってみたい。たくさん歩き、たくさん地図を作り、世界に広めたから⑥⑧⑨。・地図を見たり、描いたり、日本地図を描くほど好きなので、地図を歩いてつくった忠敬にした⑥。ほかにも、村では食べ物がない人に米を上げたりして、やさしい心やあきらめない気持ちを見習いたいと思ったから⑪⑬。・日本地図を描き、日本の発展にこうけんしたから⑥。・日本中を歩いて地図をつくったから⑥⑧。・日本の地図を歩いて作ったからです⑥⑧。すみまできちんと図ったからです⑤。1818年はあと少しで完成ができたのに描きかけの地図を残して亡くなっ

たと聞いてくやしいと思った⑥⑩。・17年間歩き続けて地球一周以上も走った⑥⑧。そして、日本地図を作った人⑥。こんなに歩けるなんてすごい⑥。歩いただけで地図が作れるなんてすごい⑧。17年間歩いて日本全国をまわったのは、とてもつかれて、きつかっただろうと思った⑥⑧。・日本地図を作ったから⑥。・歩いて日本地図を作った人⑥。歩けば69センチメートルと聞いて興味をもった⑧。

【緒方洪庵】 2人

・昔は、医者がいなかったため、病気になっても医者がないため、治せず死んでいった人を見て緒方洪庵は医者になって素晴らしい⑥⑪⑫。みんなのために、いろいろな言葉を習い、しゃべってみんなを助けたことが心に残った④⑤⑨⑪。薬を作ったためして、また作ったりと繰り返してみんなを助けてすごい⑥⑧⑨⑩。・将軍の医者と聞いて、興味をもった⑥。

【レイチェル・カーソン】 7人

・自分の意志を大切にしているし、とても自然を大切にしている②。とてもやさしい人⑫。農薬に反対する本を書いて、自然を守った②⑧⑨。自分の意見に反対する人がいても、がんばった⑦⑧⑨。・自然が好きで森で観察したり、理科が好き②。海にあこがれる人で貝を耳にあてて自分が波の打ち寄せる浜辺に立っているのだと想像したりしている⑫。ちんもくの春で地球のさけびを伝えた科学者だと分かった⑥。・いろいろな経験をした人⑫。どのような経験をしたのかが分かりやすかった。もっと本を読みたい⑫。・とても自然を愛し、殺虫剤の危険をいち早く見つけ、人々に伝えた②⑥。功績を残した⑥。殺虫剤は人間にも悪い影響を与えるということを見つけ、病気と戦いながらも本を書いた⑧⑨⑩⑫。いろいろな科学者と協力しながら、研究をずっとしてきた⑧⑨。レイチェルがいなかったら、地球はもっと環境に汚染にさらされていたはずだ⑥。・人を助けたから④⑫。・多くの人を助けて、とてもやさしいと思った④⑫。・自分らしくしている⑫。自分らしいことをずっとやっている⑤⑨⑫。

【浜口儀兵衛】 1人

・津波が来て、あわてずに水田の稲を燃やし、山へと逃げさせた④⑦⑩⑪⑬。夜だからわざと火事を起こしたので頭がいい人⑫⑭。人物像は、頭がいい人⑭。自分より、他人を考える人⑫⑬。たくさんの人を救った人⑥。せっかく作った稲の束を燃やしたから⑥⑨⑫⑭。

【猿橋勝子】 2人

・12歳からひ弱な泣き虫から活発なスポーツ少女になり、幼いころの勝子はひ弱で泣き虫でしたが、公立小学校を出るとテニスに打ち込むスポーツ少女に成長した①。・核実験による死の灰を研究した人⑤⑥。死の灰の分析をして、つきとめた⑥⑦⑧「こういう人になりたい。

上の表に「子どもは未来人」を含める。子供たちの教材の感想を分析すると一般性が高い項目は、①、⑤～⑩、⑫である。感想に表れていない項目は、教材分析をして私が評価した。同じようなポイントになり、差がない。どの教材も、茅野の言うような要素は持っているの、子供の感覚に任せて伝記教材への興味・関心を調査することとした。

## 4 実践の結果と分析

### 4.1 研究の方法

研究対象 東京都小学5年生28名（男子15名 女子13名） 10月下旬  
授業実践

## 単元名

「生き方について考えたことを伝え合おうーオリジナル手塚治虫伝をつくろうー」

## 学習材

「手塚治虫」国松俊英（東京書籍 5年下）

「子供は未来人ー手塚漫画にこめられた願いー」石子順（学校図書 平成23年版6年上）

「レイチェル＝カーソン」上遠恵子（学校図書 5年下）

「伊能忠敬」国松俊英（教育出版 6年下）

「洪庵のたいまつ」司馬遼太郎（三省堂 5年）

「猿橋勝子」堀切和雅（三省堂 6年）

「百年後のふるさとを守る」河田恵昭（光村図書 5年）

## 単元の目標

- 先人の思いや行動に興味をもち、伝記を読むことで自分の未来について考えようとする。（関心・意欲・態度）
- 人物像や出来事との相関関係から、手塚自身の思いと作品に込めた思いを読み取る。（読むこと）
- 読み取ったことをもとに、自分の生き方について考え、まとめる。（読むこと）
- 人物の生き方や考え方を表す語句や言葉の使い方に対する感覚について関心をもつ。（伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項）

## 4.2 学習の様相

東京書籍『手塚治虫』と学校図書『子供は未来人』を読み比べて、どちらの教材が、手塚治虫の人物の魅力を伝えているかを話し合った。結果は、東京書籍10人、学校図書10人、どちらか決められない8人だった。この話し合いで、子供たちは伝記の特徴に気付き、書き手によって人物像の描き方やエピソードの取り上げ方が違うことをつかんだ。2つの教材を比べて、手塚治虫の魅力を表す教材とそのよさとして以下の項目が挙げられた。

比較	東京書籍『手塚治虫』 10人 ページ数15P	学校図書『子供は未来人』 10人 ページ数10P
①被伝者の苦勞が分かる	2	2
②文章量が多い	2	3
③人物像が分かりやすい	6	3
④被伝者の思いが伝わる	2	0
⑤会話が多い	2	2
⑥エピソードがよい	0	2
⑦資料（漫画）がよい	2	0
⑧生い立ちが分かる	3	1
⑨幼少期の性格が分かる	0	2
⑩書き出しがよい	0	0
⑪終わり方がよい	2	2
⑫題名の工夫がよい	0	1
⑬筆者のメッセージが伝わる	0	1
⑭名前の由来が分かる	0	1
⑮資料がカラーでよい	1	0

・マンガを誰よりも愛して描きたかった人だということが強く伝わる。マンガを待つ人の

ため、体がつきはてるまでマンガを描きたいと、この言葉で分かりました。「鉛筆をくれ」で分かりました。心にぐっときました。あともう一言「どんな時でもペンを離そうとしなかった」です。(子供の感想「東京書籍『手塚治虫』」)

・手塚のあらゆる感情を書き留めて治虫からの未来人を大切にするという気持ちが書いてある。治虫があきらめない人、努力する人だと思う。最後の「手塚治虫は生きている。未来人がいるかぎり。」からは、治虫が未来人を大切にしているという気持ちが表れている。

(子供の感想「学校図書『子供は未来人』」)

教材にする上では、本や資料の内容を精選して教材にすることの難しさがわかる。この話し合いで、人物の魅力を伝えるために効果的な視点が浮き彫りになった。子供たちは、教材のよさや批判をする中で、教材が被伝者の魅力を表すことができるポイントとして、次の10のポイントを話し合いで選定した。

#### 教科書教材のよさ

- |                        |              |
|------------------------|--------------|
| ①人物像をよく表している           | ②印象的なセリフがある  |
| ③会話や行動がわかりやすい          | ④エピソードがおもしろい |
| ⑤資料(写真 年表 作品など)がわかりやすい | ⑥文章の書き出しがよい  |
| ⑦題名がよい                 | ⑧功績がよく伝わる    |
| ⑨終わり方が工夫されている          | ⑩身近な人        |

筆者の言葉は、被伝者の言動や業績を価値づける役割がある。そのため、筆者の描くメッセージや人物像によって、文章が異なるので、①、③～⑤、⑧の項目が出てきたことは、納得である。②については、子供は「心に残る名言」が欲しいと言っていた。被伝者の魅力や人間性を表すエピソードの中に、明言を盛り込むことで、被伝者へのあこがれや尊敬を感じる。『手塚治虫』の「えんぴつをくれ」に、子供たちは被伝者の仕事への熱意、漫画への思いを感じていた。名言を入れる必要がある。⑥では、「手塚治虫」の書き出しである「鉄腕アトム」、「ジャングル大帝」、「ブラックジャック」、「火の鳥」。だれもが知っているこれらの作品を生み出したのは、まんが家、手塚治虫である。」を挙げていた。この一文で図書室の本や読書経験を想起し、被伝者を身近に感じた。日常体験を想起し、薬局にあるポスターを話題にした子供もいた。書き出しの工夫が必要である。⑦では、「子供は未来人」という題名に、筆者の思いが込められているという意見が挙がった。被伝者の名前を単に題名にするのではなく、教材として被伝者に関わる豊富な情報を凝縮するであるならば、思いきって筆者のメッセージを色濃く出して、題名にした方がいいという考えである。題名を読めば、被伝者の人間性、功績が分かり、文章の内容が分かるようにした方がいいという子供の考えである。⑨では、文章の終わり方として、「手塚治虫」では「みずみずしい命を持って生きている」であり、「子供は未来人」では「手塚治虫は生きている。未来人がいるかぎり。」となっている。子供は両教材、それぞれよいとしているが、「みずみずしい」という言葉に称賛していた。「みずみずしい」の言葉を受けて、今も手塚の漫画はおもしろいし、多くの漫画家に影響を与えたことを挙げていた。手塚が日本の漫画の歴史の基礎を築いた人物であり、人々の心に生き続けていることを読み取っていた。一方、「未来人がいるかぎり。」という言葉は、最後まで未来を担う子供たちに手塚のメッセージを託していることを称賛していた。筆者の手塚への思いがこめられた終わり方だと言う意見が挙がった。⑩として、普段の身近な生活体験にいる人物がよいことが挙がった。知ってはいるものの、業績や人柄は深くは知らないという人物がよい。時代が古いと、被伝者が置かれた社会的背景や状況を理解しなければならなくなり、文章を読み取る

上で時間がかかる。この障壁がない方がよい。小川（2018:1）は、伝記の学習で「被伝者が生きた時代の言葉」を解釈するために、被伝者の発した言葉やその時代に発せられた言葉を理解、解釈する過程の必要性を述べている。そのためには、被伝者と学習者の時間的な隔たりが少ない方がよい。

子供たちはそれぞれ本や資料を読んで、5人の被伝者（手塚を除く）へのあこがれをもっていた。その上で教材化された文章を読んで、自分たちが見つけた「人物の魅力を伝える10のポイント」が盛り込まれているかを、以下話し合った。

学習者の発話プロトコルをトランスクリプトし、教科書教材の魅力を話し合わせ、学習者の興味・関心を事例的に分析する。プロトコルデータの記述方法は、松本（2006:83）に準ずる。

#### 4班（学習者4名 I Y SH S）

- 1 I 教科書の教材は、被伝者の魅力を表しているか話し合います。意見を言ってください。
- 2 I Yさん言ってください。
- 3 Y はいえっと：：えっと：：ちょっと待ってくださいね＝
- 4 I ＝先にSHさん、どうぞ
- 5 SH 私は：：教科書は人物の魅力をよく表していると思います。理由は資料などが分かりやすく、功績が最初から書いてあって読みやすいからです。
- 6 Y 教科書は人物の魅力をよく表していると思います。最初の題名が読みたくなるような：：えっと、何だろう？あれなので：
- 7 Y （笑）読みたくなるような題名なので：：えっと：：はい、だからです。
- 8 I この教材、本より教科書の方が人物の魅力を表している、つまり優れていると思う人？教材？伝記？
- 9 S えっと：：この教材は、題名がレイチェル＝カーソンというシンプルな題名だから、もっと誰だっけ？
- 10 Y 浜口＝
- 11 S ＝そうそう、浜口儀兵衛の伝記みたいに、あの：：やったことのような、名言みたいな惹きつけられる題名の方がいいと思います。でも：：資料は分かりやすいと思いました。
- 12 I Sさんと同じように教科書は分かりにくい部分があると思うのですが：：もっと絵の説明をしたり、測り方とか書いてあるのがいいけど：：他の話し合い？伊藤忠敬が意見を発したりしたときの：：話し合いの絵があるともっと分かりやすい絵？になると思います。はいYさん、どうぞ。
- 13 Y 先ほど分かりやすいと言いましたが、優れていない部分もありました。絵が昔過ぎて：：えっと：：今の絵もあると分かりやすいと思いました。
- 14 I 昔と今の比較ということ？
- 15 S 私的に：：絵がいっぱいあると：：理解できない時があるので分かりやすいです。もうちょっと：：何か全ページに絵があるとうれしいです（笑）ありがとうございました。（笑）
- 16 I 他に：：
- 17 I まとめると：：半分、半分だったね。
- 18 S どっちにしろ：：いい点とわるい点があったね。まとめて：：
- 19 I 題名の付け方で：：その人の伝記をそのまま書いている人と：：その人の思っていることとか名言とか入れて：：書いている人がいて：：もうちょっと資料を分かりやすくした方がいいとか：：話し合いの部分で資料をもっと入れた方

がいいとかありました。

- 20 Y //よく言えたね (笑)  
 21 S//さすがだね (笑)  
 22 SH 名言だと?  
 23 S 手塚治虫だとどんな名言がある

の?

- 24 I //鉛筆をくれ。  
 25 S //鉛筆をくれ。  
 24 Y なるほど。

9 S は、題名に着目している。実際、現行の教科書教材を見ると、題名に人物名を入れた教材は4つである。他2つ(「洪庵のたいまつ」司馬遼太郎(三省堂 5年)「百年後のふるさとを守る」河田恵昭(光村図書 5年)は、筆者が描く人物像やメッセージが込められている。被伝者の人物名を題名に入れることよりも、筆者が描く人物像を色濃く出した題名を入れた方がよいという子供たちの考えである。題名に人物名を入れないことで、教材を読みたくする意欲につながり、伝記の特徴である筆者の人物像を読み取る学習につながるのである。

13 Y は、資料について述べている。被伝者が活躍した時代にもよるが、あまりに読者と被伝者の時間的な距離が離れている場合は、読者の教材への理解を補う資料が邪魔をする場合もある。伝記の本や資料を読んで、伊能忠敬の功績を評価する子供は多くいた。還暦を過ぎて日本地図を作成した功績に大きな感動を受けて、伊能忠敬に魅力を感じる子供がいたが、教材を読んで違和感を覚えていた。

22 SH は、被伝者の人格や功績につながる名言について言及している。被伝者が残した名セリフは、子供たちの心に残る。「手塚治虫」国松俊英(東京書籍 5年下)では、被伝者が病床にいる時にも漫画を書き続ける場面で発した「鉛筆をくれ」という言葉に、子供たちは感動した。同じ場面として「子供は未来人—手塚漫画にこめられた願い—」石子順(学校図書 6年上)では、「となりへ行って仕事をする。仕事をさせてくれ」となっている。「仕事」よりも「鉛筆」という言葉に感銘を受けた。人物の魅力を表すエピソードに盛り込む被伝者が発する言葉も吟味する必要がある。このような、読者の心に残る名言を教材に盛り込むことの必要性を22 SH は言及している。

#### 全体交流

- 101 T 教科書の方は：：大事なことを  
 詰め込みすぎている。  
 102 全員 (笑)  
 103 M うん?  
 104 Y どういうことだ?  
 105 T 教科書は大事なことだけ  
 106 Y //うん?  
 106 S //うん?  
 107 T 本はそれ以外も ( )  
 108 T 飽きる  
 109 全員 (笑)  
 110 M M くんが言えばいいんだ。  
 途中から読むとつまらなくなる。
- 111 E 教科書はつまらなくなるの?  
 112 M 本の伝記だとあまり関係ない  
 こととかも入れてあるけど：：教  
 科書は大事なことばかりだから  
 : : 飽きてきちゃう  
 113 M 何て言えばいいんだろう?  
 114 T 本は最初から読むと分かりやす  
 くて、教科書だと途中から読んだ  
 らどんなことが書いてあるか：：  
 わからなくなる。意味がわからな  
 くなる。

伝記の本は、ページ数が厚いこともあり、様々な資料を活用して、人物の生い立ちから



功績までが一連に書かれてある。一方、教科書教材は、ページ数が限られていることもあり、筆者が描きたい人物像に合ったエピソードや資料を基にして、断片的に被伝者が描かれている。子供たちは、この点に注目したと考えられる。東京書籍の「伊能忠敬」は、小見出しを付けて断片的なエピソードをつないでいる。他の教材は場面ごとに区切っている。**教科書教材は人物の魅力を伝えているか (児童感想抜粋)**

そう思う 11人

・レイチェルにどんなことがあったか、エピソードが書いてある。・図や言葉でくわしく説明している。絵で表していたり、言葉の意味が下に書いてあったりしてとても分かりやすい。・資料が多くて、必要なことがしぼって書いてある。・教科書教材は、いろいろな内容がくわしくいっぱい書いてある。・幼いころのレイチェルをたくさん取り上げ、自然が大好きなレイチェルという人物が分かるように書いてある。・人物の魅力をくわしく文章に書いてあり、資料も分かりやすい。・資料が分かりやすく、人物の魅力や体験したことがたくさん書いてあった。・浜口儀兵衛の功績についてよく表していて、どこで何があったかがよく書かれている。・人物像が分かるし、エピソードもおもしろい。終わり方もよく工夫されている。資料もとても分かりやすかった。

どちらとも言えない 15人

・題名が伊能忠敬で、何をした人かエピソードを読まないと分からない。「高橋至時との出会い」とあり、これから会うんだと思う。見出しをつけるとよい。・悪いところはレイチェルのセリフが少なく、筆者がすべて文章で表している。名前を題名にしているので、もう少し工夫した方がよい。・本では被伝者の使った道具をすべて書いているが、教科書は一部しか書いていない。取り上げるエピソードや資料が違う。見出しと内容が合っていない。・最初は、興味をひく言葉が書いてあったけれど、読んでいるうちに分からない文章がどんどん出てきて、分からなくなった。・題名が名前だったからあまり興味を引き付けられなくて、読みたくない。もう少し資料を増やしてほしい。名言手塚治虫の伝記なら「鉛筆をくれ」などを入れてほしい。・いいところもあれば悪いところもある。・漢字がいっぱいあってわかりづらい。・題名から全体像が分からないけれど、読むと読んだ本よりエピソードがくわしく書いてあった。見出しと内容があっていない場面があった。伊能図の描き方が分かりやすかった。・この本はその日の天気から始まっているので読みやすい出だしがいい。しかし、分からない絵などがあるので、写真の下にその写真の説明があるといい。・写真は分かりやすいけれど、文章の字などが小さいところがある。

伊能忠敬は、高齢の身でありながら日本を歩いて測量したという努力や苦勞と、現在使われている地図と比べた伊能地図の正確性の観点から、大変人気の人物となった。教材を読む前に26人中16人が「5人の被伝者の中から好きな人物」として選んでいる。しかし、伊能忠敬の教材については10のポイントの②⑤⑦⑨⑩で批判が多く挙がった。被伝者の魅力と教材との隔たりが、一番大きくかけ離れた教材となった。⑤については、「資料が古くて興味・関心を惹かない。」とあった。また、6つの教材の中で一番漢字が多く、文章の構成が上下2段になっていて読みにくい。題名の工夫がなく、エピソードに魅力を感じないと言った批判が一番多い教材となった。筆者のエピソードの選び方に問題があるとしている。

「伊能忠敬」の教材は、子供の興味・関心と教材との乖離の例として、好材料である。教材化する上で更なる工夫が必要であるという子供の考えである。

## 5 学習の振り返りの結果と分析

## 学習後のアンケート（抜粋）

「伝記を読んで人物の言葉や行動から学び、自分の生き方を考えましたか。」

・ これからの生き方を考えるのが楽しい。・ 生き方などを好きになることがあって、やってみたいと思う。・ 被伝者は心が強く、広いからそういう人になろうと思った。  
 ・ 人生の参考になる。・ 正直に生きたいと思った。・ 前は最後までやりとげられないで途中でやめてしまったけれど、伝記を読んで最後までやりとげられるようになった。  
 ・ 思いやりや考えを学び、実際にやってみたい。・ 大人になってからの夢があるので、いろいろ考えました。・ 被伝者を目標にして、頑張っている。・ みんな何かをやった人が多いから、その人のことを学べば、とてもいい人になれる。

伝記の魅力は、子供たちの生き方に影響を与えることである。自分の長所や特技、将来の夢を考えさせて、今の自分を見つめさせる。そして、被伝者の苦労や努力、功績を読み取ることで、子供たちは自分の生き方に役立つ考え方を学ぶことができる。実際に自分の行動や姿勢が変わったことを実感している子供がいる。日本は世界的に見ても人間の生き方を取り上げた教材が少ないことは、前に述べた。国語科の伝記の学習で、被伝者の生き方を表している言葉に着目して学習することは、大変希少な価値ある学習である。

## 6 おわりに

伝記は、被伝者の功績や偉大さからあこがれや尊敬の念を抱き、自分の生き方を見つめる学習である。平成29年告示「小学校学習指導要領」（2017:151）では、伝記の言語活動例として「自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動」と明示されている。平成20年告示「小学校学習指導要領」（2008:91）の伝記の言語活動例は「自分の生き方について考えること」である。平成29年では「伝え合う」となることで、一步レベルアップしたと考える。考えるだけではなく、自分の考えをもった上で表現しなければならない。伝記の教材は、子供が自分の考えをもてるようにする工夫がより一層求められる。教材にする上では、子供たちの興味や関心を考慮した10のポイントを教材作成の基準とした上で教材化する必要を訴えたい。

現在、三省堂以外の会社は、5・6年の2年間で一本の伝記学習である。5年と6年では、発達段階が違うし、感じ方も違う。2年間で2本の伝記学習を希望する。そして、より多くの伝記を教科書教材として掲載することで、子供たちが被伝者から生き方を学び、多様な価値観に触れて自己の人格を形成していくことを切に願っている。

## 文献

石塚修（2008）「初等中等教育の国語科の教科書及び補助教材の内容構成に関する総合的、比較教育的研究— 学力の基礎をなす言語能力の形成を中心として —」研究成果報告書,58

小川高広（2018）[伝記を国語授業で読むことへの探求],教育実践研究 第28集 1

茅野政徳（2012）「戦後小学校国語検定教科書における伝記教材の変遷」,第123回全国

大学国語教育学会発表要旨集 288、290

玄田有史（2004）「十四歳に『いい大人』に会わせよう」 『中央公論』,162-169

松本修（2008）「初等中等教育の国語科の教科書及び補助教材の内容構成に関する総合的、比較教育的研究— 学力の基礎をなす言語能力の形成を中心として —」研究成果報告書,77

松本修（2006）『文学の読みと交流のナラトロジー』東洋館出版,83-84